

政策会議 議事概要

- 1 日 時 令和5年11月16日(木) 14時10分 ~ 15時10分
- 2 場 所 幹部会議室
- 3 出席者 総務局長、総合政策局長、財政局長、総務局次長、市長公室長、総務部長、総合政策部長、財政部長、資産経営部長、所管次長、所管部長
- 4 議 題 千城台南小学校跡地利活用における千城台公民館・若葉図書館の再整備について
【方針決定】(教育委員会、財政局)

[決定事項]

- 千城台公民館・若葉図書館の複合施設は、地域拠点及び防災機能を強化した施設とし、再整備内容は、添付1のとおりとする。
 - ・規模は、約2,000㎡(公民館1,000㎡、図書館1,000㎡)とする。
 - ・整備手法は、直接施工(従来)方式とし、令和6年度より基本・実施設計業務委託に着手する。

教育委員会次長、生涯学習部長、資産経営課長 ~資料に沿って説明~

(質問・意見等)

財政局長

図書館ビジョン2040に、「市民が図書館サービスへアクセスしやすい環境を整備するため、地区図書館や地区図書館分館のサービス機能の再編やコンパクト化を進めつつ、駅前の商業施設などに予約資料の貸出や返却といったサービス機能に特化した図書の取次を行う窓口や返却ポストを設置」という記載がある。

通常こういったビジョンを作った後、図書館全体をどのようにしていくかというアクションプランを作って、それをもとに個別の若葉図書館をどうするかという整備計画を作るものであるが、現在、アクションプランがないので、市全体の図書館がどうなっていくのかが見えていないまま進んでしまっている。

コンパクト化についても、面積を若干調整してはいるが、どういう考え方でどういう図書館にしたいのかが見えない。

また、第1次実施計画において、R6年度に基本設計、R7年度に実施設計を行うスケジュールになっているが、今年度中に基本計画にあたるものが作成できるのか。

中央図書館長

図書館ビジョン2040については、2040年までの長期的な構想であるので、具体的な実施計画やアクションプランは必要であると考えている。一方で、2040年までの長い過程の中で、どこから進めるかを決めるのは難しく、基本的には築30年以上の地区図書館等を中心に再編を進めるという考えでいる。その再編のタイミングごとに、コンパクト化や簡素化、サービスポイントの設置をどうするかについて一つ一つ

検証し考えていく。配送センターについても中央図書館の大規模改修までには考える。段階的に進めていきたい。

生涯学習部長 政策会議後、生涯学習審議会や社会教育委員会議、図書館協議会での意見を踏まえて、基本計画にあたるものを作っていく。

財政局長 コンパクト化や貸出・返却窓口等を、どのように進めていくのか全体像が見えないまま進めて、あとからつじつまが合わないことにならないか心配である。

中央図書館長 コンパクト化について、ハード面としては、電子書籍の導入を進めていき、資産の縮減を進めていきたいと考えている。

財政局長 ソフト面については、貸出・返却業務はセルフ化を進め、その代わりにレファレンス業務に注力していくことを、図書館ビジョンで謳っているので、ハード面とソフト面をそれぞれ並行して進めていきたい。

総合政策部長 基本設計まで時間があると思うので、全体像についての考え方を整理していただきたい。

生涯学習部長 駐車場について、現施設では路上駐車が問題になっていたと思うが、170台程度の整備で十分と言えるのか。

総合政策局長 また、保育所が近くにあることで低年齢の図書館利用が増えると思うので、保育所との配置の親和性や蔵書について検討いただきたい。

生涯学習部長 その他、音楽室は専用室にする必要はないと思うが、図書館との複合施設となるので、音への配慮は必要であり、防音機能のある部屋をもう少し増やしたほうがいいのではないと思う。

総合政策局長 駐車場については十分であると考えている。

教育次長 地元からも公園利用者の路上駐車を防ぐのに十分な数の駐車場を作るよう要望がある。また、公民館に避難所機能を持たせるため車中泊をする場合も想定している。

生涯学習部長 緑道側からフラットな導線を確認するとあるが、千城台地域は高齢者が多い地域なので、駐車場側からもフラットになるようにしていただきたい。駅から離れてしまうので、将来的にはコミュニティバスやデマンドバス等が走る可能性もある。車が入ってこれないように作りこんで駐車場側から徒歩で入りづらくなってしまうことがないようにしていただきたい。

総合政策局長 外からの導線としては、駐車場側、緑道側どちら側からも入れるようになっている。例えば災害時の物資の搬入であっても、普段は図書の配送用となっているルートを使えば大型トラック等が入ってきても、駐車場側からも搬入ができる。

生涯学習部長 また、建物内の動線については、1階2階の段差を利用して、子どもが転んでも大丈夫なようにクッションを設置した階段と通路を作るつもりである。

総合政策局長 駐車場について、170台分の駐車場があるというイメージだが、実際は建物近くに自転車置き場や車寄せを作ることを考えている。

生涯学習部長 今回いただいた意見を踏まえて、これから細かい設計をしていきたい。

総合政策局長 サービスポイントについて、図書館が千城台駅から離れてしまうので、本の貸出・返却サービスの設置が重要になってくると思う。ネット上の図書予約が中心になると思うが、公民館との複合施設となることを生かし、予約の仕方を教えるスマホ教室等ができたらいいと考えている。70代のスマートフォン所持率は約80%と言われているが、電話を使うためだけのものになってしまっているという実態があるようなので、なるべく便利になるよう連携していけたらいいと思う。

大木副市長 緑道と広場を活かした憩いの場というのは良い考えだと思う。スケジュールを見ると建築工事が終わってから外構工事をする事になっている。建物ができてから1年以上使えないというのは対外的に説明がしづらい。外構工事に時間がかかるのはわかるが、外構工事をやりながら安全性を確保して建物の供用開始ができないか検討していただきたい。

生涯学習振興課長 外構工事はどうしても建築工事の後半になってからでないと始められないということ、都市局建築部から聞いている。だが、このスケジュールの中で短縮できるのは外構工事の部分だけなので、外構工事を建築工事と合わせて進めることができないかどうか、都市局建築部と調整しながら進めていきたい。

教育次長 施設整備について、保育所は民間がやる事が決まっていて、図書館・公民館のスケジュールも決まるが、特養施設はまだ未確定な状況である。建物をつくる時駐車場をヤードに使うので、保育所、公民館、図書館ができた後に特養施設を作るときは、下側の駐車場はおそらく工事ヤードになる。全体としては、外構工事に2年かかるスケジュールになると思うが、上側の駐車場だけ先に供用を開始するという形も考えられる。対外的な説明の仕方については今後検討していきたい。

大木副市長 市民からすると建物が出来上がっているのに使えないというのは疑問に感じると思うので、安全性を確保した上で先に供用開始ができないか、都市局にアドバイスをもらいながら検討していただきたい。

市長 公民館の中に地域運営委員会の活動拠点を作るという説明があったが、どうしてこのような対応をするのか説明を求められると思う。その際、再編に協力してくれたことと今後の活動について地域として展開していくということの2点なのか、再編への協力については関係がないのか考えを整理しておきたい。

市民自治推進課長 再編への協力とは無関係である。もし他の地区で対応する必要がある場合は、地域運営委員会の活動拠点として活用し、地域交流事業を実施することを条件として提示していくことになると考えている。

市長 再編への協力は今回は関係がないということで理解した。ただ、複数施設の統合が前提条件になっているという理解でいいか。

市民自治推進課長
市長
市民自治推進課長
市長
中央図書館長
市長
中央図書館長
市長
資産経営課長

その考え方で相違ない。
単に地域住民が積極的に活動していきたいと言っていることだけに応じているわけではないということか。

地域運営委員会の活動支援としては、市有の既存の公共施設の余裕空間等、使える場があれば提供するという形で、周辺施設に伺いを立てながら拠点の確保の支援をすることとしている。

サービスポイントの設置について、コミュニティセンターに返却機能のみを導入するということであったが、図書館ビジョン2040には、貸出・返却機能の両方の記載がある。コミュニティセンターは返却だけ、貸出は公民館で、というように分けた理由や考え方を教えていただきたい。

また、サービスポイントの設置は、個別ケースに応じた特例的なものなのか、今後は一定の条件を設定していくのか、考え方を確認したい。

図書館ビジョン2040では、地域の図書館、移動図書館ステーション、貸出・返却図書を取次を行う窓口、返却ポストの4つを総称してサービスポイントとしている。

地元からは、新図書館が千城台駅から5～600メートル遠くなってしまうので、駅周辺に貸出・返却ができるサービスポイントを設置してほしいという要望をいただいたが、この距離で今回設置してしまうと、今後各図書館の再編時に、相当の数を設置しなければならなくなることが考えられる。

ただ、返却のしやすさは確保したいので、返却ポストを設置するとともに、貸出面でのサービス拡充として、現在は図書館閉館の17時15分までとなっているところ、セルフ化を導入することによって、公民館の開館時間の21時まで対応できるようにしたいと考えている。

今回は近すぎるので置かないが、今後、別の場所での再編時は、積極的に置くことを含め検討していきたい。

現在は、返却ポストがどこにあるのか確認したい。

返却ポストについては、三省堂書店そごう千葉店、ペリエ千葉、イオンモール幕張新都心、ペリエ稲毛に設置しており、今年度、新たに検見川浜駅周辺に設置予定である。

返却ポストの設置は、貸出・返却ができるサービスポイントに比べそれほど費用はかからない。

別の再編時には、フルスペックのサービスポイントができる可能性があるということに理解した。

外構工事を待つことで、供用開始が1年遅れるというのは対外的に説明がつかないと思う。

次世代サクラの育成という説明があったが、ほかに市内で行っている例があるのか。

我々が認識している限りではほかにはなく、初めての取組みである。
地域で愛着を持ってもらうという意味で、大学の先生からの提案であ

る。

市長

いただいた意見をもとに、スケジュールや図書館ビジョン2040の今後の展開など引き続き検討していただき、それに対応することを前提として方針決定とする。

— 結果 —

会議で出た意見に対応することを前提として、**方針決定とする。**

5 照会先

- ・会議の運営について

総合政策局総合政策部政策企画課

TEL 043-245-5053

- ・議題について

教育委員会生涯学習部生涯学習振興課

TEL 043-245-5952

財政局資産経営部資産経営課

TEL 043-245-5286